

2018年度 自己評価表  
YMCA米子医療福祉専門学校

1. 学校の教育目標

YMCA精神に基づく民主的「全人教育」を行い、人間性豊かで専門的知識・技術・態度を身に着け、社会に貢献する理学療法士、作業療法士、介護福祉士を育成する。

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

以下の項目を本年度の重点事項とする。

- (1) 日本YMCA中期計画を推進する。
- (2) 既存学科の分析を行い、今後どのような運営を図るのか検討する。
- (3) 学校経営の基盤の根幹となる学生確保に向けた取り組みの強化に努める。
  - ①学校全体の質向上を確保するために、募集戦略委員会を中心に学生募集の強化を図る。
- (4) 教育の質向上を目指した取り組みの強化を行う。
  - ①丁寧な教育と学生支援を強化して、休学率・退学率の低減を図る。
  - ②国家試験の合格率を維持する。
- (5) 経費削減の徹底を図り、収支を維持する。
- (6) 老朽化した備品や施設の更新を計画的に行う。
- (7) 鳥取大学医学部との連携を強化する。
 

校長を鳥取大医学部から招聘し、講師陣の充実とそのメリットを広くアピールする。

3. 評価項目の達成及び取組状況

(1)教育理念・目標（大床）

評価項目	適切…4 ほぼ適切…3, やや不適切…2 不適切…1			
1. 理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野における職業教育の特色は何か)	4	3	②	1
2. 学校における職業教育の特色は何か	④	3	2	1
3. 社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4	③	2	1
4. 理念、目的、育成人材像、特色、将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	4	③	2	1
5. 各学科の教育目標,育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	④	3	2	1

①課題

1. 学校の理念、各学科の目標などは学生便覧にしているが、学校全体としてのアドミッションポリシー、カリキュラムポリシー、ディプロマポリシーについて設定できていない。

- ・3 どの学科も社会経済ニーズは高いと思われるが、入学者数に反映していなかったり、求人数に結びついていない。また、学校の将来構想が明確に描けていない。
- ・4 学校の理念、各学科の目標などは学生便覧にしているが、学生・保護者に周知できているとは言えない。

### ②今後の改善方策

- ・1 委員会を立ち上げ、アドミッションポリシー、カリキュラムポリシー、ディプロマポリシーについて検討を始めた。
- ・3 学校運営会議、タスク会議にて将来構想について議論を続けている。
- ・4 ホームページの有効活用を進め、外からみて直ぐに分かるようにする。

### ③特記事項

## (2)学校運営（三谷）

評価項目	適切…4 ほぼ適切…3, やや不適切…2 不適切…1			
1. 目的等に沿った運営方針が策定されているか	④	3	2	1
2. 目的等に沿った事業計画が策定されているか	4	③	2	1
3. 運営組織や意志決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	④	3	2	1
4. 人事、給与に関する制度は整備されているか	④	3	2	1
5. 教務、財務等の組織整備など意志決定システムは整備されているか	④	3	2	1
6. 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	④	3	2	1
7. 教育活動に関する情報公開が適切になされているか	④	3	2	1
8. 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	④	3	2	1

### ①課題

- ・2 老朽化した備品や施設の更新を計画的に行うことができていない。

### ②今後の改善方策

- ・2 指定規則の改正に向け、優先順位を決め更新を計画する。

### ③特記事項

- ・2 既存学科の分析を行い、今後どのような運営を図るのかということに関しては、米子タスク会議で定期的に協議を進めている。

(3)教育活動（岩崎）

評価項目	適切…4 ほぼ適切…3, やや不適切…2 不適切…1			
1. 教育理念、ポリシー等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4	③	2	1
2. 教育理念、ポリシーや業界のニーズを踏まえ、修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか。	4	③	2	1
3. 学科等のカリキュラムは指定規則を踏まえ、体系的に編成されているか	4	③	2	1
4. キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	④	3	2	1
5. 教育課程について、外部の意見を反映しているか	④	3	2	1
6. 関連分野における実践的な職業教育（臨床実習、施設実習等）が体系的に位置づけられているか	④	3	2	1
7. 学校が主体となって実習指導者の教育の質を高め、一定の教育水準を担保する取組が行われているか	4	③	2	1
8. 授業評価の実施・評価体制はあるか	④	3	2	1
9. 職業教育に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	④	3	2	1
10. 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	④	3	2	1
11. 定期的に学生面談を実施し、必要に応じて個別指導を実施しているか	④	3	2	1
12. 資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	④	3	2	1
13. 人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	④	3	2	1
14. 関連分野における業界との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するマネジメントが行われているか	④	3	2	1
15. 関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4	③	2	1
16. 教員が臨床能力を高めるための環境を整備し、実施できているか	④	3	2	1

① 課題

- ・1. 2. 3. 教育理念、3 ポリシー（アドミッション、ディプロマ、カリキュラム）を見直し、整備している。現在の教育体制との整合性、新指定規則への反映などを行っている最中である。
- ・7 現状は行えているが、新指定規則に対応するための計画などが十分ではない。
- ・15 研修規程に基づき、職場外研修を行っているが、全体の能力向上やブラッシュアップに努める必要がある。

② 今後の改善方策

- ・1. 2. 3. 教育理念、3 ポリシー(アドミッション、ディプロマ、カリキュラム)を見直し、整備を進め、現在の教育体制との整合性、新指定規則への反映などを完了させる。
- ・7 新指定規則に対応するための計画を、順次策定する。
- ・15 全体の研修を計画的に進められるよう、検討する。

③特記事項

(4)学修成果 (増田)

評価項目	適切…4 ほぼ適切…3, やや不適切…2 不適切…1			
1. 就職率に関する目標設定はあるか	④	3	2	1
2. 関連する企業等と共催で就職ガイダンスを行うなど、就職に関して関連企業等と連携しているか	4	③	2	1
3. 資格取得率の向上が図られているか	④	3	2	1
4. 退学率の低減が図られているか	④	3	2	1
5. 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4	③	2	1

①課題

- ・2 理学療法、作業療法士科では、4年生を対象に実習地と求人地の就職ガイダンスを行っている。介護福祉士科は、全学年を対象に実習地の就職ガイダンスを行っている。
- ・4 就職先等からの情報はあがるが、卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価をすべて把握できていない。

②今後の改善方策

- ・2 各地で開催される就職フェアなどへ積極的な参加を促す必要がある。
- ・4 卒業生・在校生の社会的な活躍・評価を、臨床実習指導者会議、実習地訪問、アンケート等で情報収集できる仕組みを整える。

③特記事項

(5)学生支援 (馬場)

評価項目	適切…4 ほぼ適切…3, やや不適切…2 不適切…1				
1. 進路就職に関する支援体制は整備されているか	4→2	4	3	②	1
2. 学生相談に関する体制は整備されているか		④	3	2	1

3. 学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	④	3	2	1
4. 学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4	③	2	1
5. 課外活動に対する支援体制は整備されているか	④	3	2	1
6. 学生の生活環境への支援は行われているか	④	3	2	1
7. 保護者と適切に連携しているか	④	3	2	1
8. 卒業生への支援体制はあるか	④	3	2	1
9. 社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	④	3	2	1
10. 高校,高等専修学校等との連携によるキャリア教育職業教育の取組が行われているか	④	3	2	1
11. 学生自治会へのアドバイスや支援を行っているか	4	③	2	1

①課題

- ・1 就職活動が厳しくなってきたが、学生任せの雰囲気が残っており、改善が必要である

②今後の改善方策

- ・1 就職活動を支援する体制を、学校を挙げて作り上げていく

③特記事項

- ・11 学生自治会の自治を損なわないように、会計や監査・予算決算方法など管理部門の手法を支援している

(6)教育環境（増田）

評価項目	適切…4 ほぼ適切…3, やや不適切…2 不適切…1			
1. 施設設備は教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	③	2	1
2. 学内外の実習施設,インターンシップ,海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	④	3	2	1
3. 防災に対する体制は整備されているか	4	③	2	1
4. 学内における安全管理体制を整備し適切に運用しているか	4	③	2	1

①課題

- ・1 図書や備品の充実を図る必要がある。
- ・3 備品の転倒防止などの安全管理が不十分である。
- ・3 年に1度避難訓練を行っているが、マニュアルを整備中である。
- ・4 様々なリスクを想定し、マニュアルを整備する必要がある。

②今後の改善方策

- ・3 防災体制の整備は重要であるので、災害発生時に適切に対処するためのマニュアルの整備を進める。

- ・4 危機管理委員会を中心にマニュアル整備を進める。

### ③特記事項

#### (7)学生の受入れ募集（竹井）

評価項目	適切…4、ほぼ適切3、 やや不適切…2、不適切…1			
1. 学生募集は、適正に行われているか	④	3	2	1
2. 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	④	3	2	1
3. 学納金は妥当なものとなっているか	④	3	2	1
4. 中学校・高等学校等接続する機関に対する情報提供等の取り組みを行っているか	④	3	2	1

#### ①課題

#### ②今後の改善方策

#### ③特記事項

#### (8)財務（三谷）

評価項目	適切…4 ほぼ適切…3, やや不適切…2 不適切…1			
1. 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	③	2	1
2. 予算収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	④	3	2	1
3. 財務について会計監査が適正に行われているか	④	3	2	1
4. 財務情報公開の体制整備はできているか	④	3	2	1

#### ①課題

- ・1 学生数が減少する中で、目先の運営に追われており中長期的な展望が持てていない。

#### ②今後の改善方策

- ・1 入学者数が上向きの傾向になってきているので、中長期的な見通しを本部と連携しはつきりとさせる。

#### ③特記事項

(9)法令遵守（三谷）

評価項目	適切…4 ほぼ適切…3, やや不適切…2 不適切…1			
1. 法令,専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	④	3	2	1
2. 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	④	3	2	1
3. 自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	4	③	2	1
4. 自己評価結果を公開しているか	④	3	2	1

①課題

- ・3 自己点検評価がマンネリ化してきている。

②今後の改善方策

- ・3 違った視点からテーマを絞り自己点検評価を行うよう取り組む。

③特記事項

(10)社会貢献・地域貢献（馬場）

評価項目	適切…4 ほぼ適切…3, やや不適切…2 不適切…1			
1. 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献地域貢献を行っているか	④	3	2	1
2. 生徒のボランティア活動を奨励、支援しているか	④	3	2	1
3. 地域に対する公開講座教育訓練(公共職業訓練等)の受託等を積極的に実施しているか	④	3	2	1

①課題

②今後の改善方策

③特記事項

- ・鳥取県理学療法士会・作業療法士会・介護福祉士会と連携し、研修や学会など共催も多く実施
- ・YMCA系のボランティアだけではなく、各団体と連携して様々なボランティアを紹介・参加している